

骨子案への意見等		市の考え方・対応等
市民等アンケートの概要（素案P.28）		
1	アンケートの実施した結果については「いつ」「どういった条件で」といった <b>具体的なところも注記すると信頼あるデータ</b> となると思います。	市民等アンケートの概要（素案P.28）において、「対象者の抽出区分」及び「期間」を追加しております。
現状と課題の整理（素案P.36）		
2	若年層が大学進学などで県外に転出し、Uターン就職しない影響が大きいと考えられるので、Uターンしやすい <b>地域産業の育成（働く場所の増大）と医療・福祉分野を含め生活環境の充実</b> を引き続き図っていくことが重要と考えます。	将来的にUターンしやすい環境整備として、情報通信関連産業などの若者が魅力を感じる働く場の創出や、地域の特性を生かした産業の育成に取り組んでまいります。
3	人口ビジョン改訂案（3）①アの【社会増減】の部分に、「若年層の転出抑制により、」との記載がありますが、 <b>若年層が視野を広げるために（一時的に）転出すること自体は悪いことではない</b> と考えるので、例えば「若年層の転入増加施策の実施により、」といった記載に変更されてはかがと考えます。	頂戴した御意見を反映し、「若年層の転入増加に向けた施策の充実により、…（素案P.37）」と修正しております。 「若者から選ばれるまちを創る」ため、将来的にUターンしやすい環境整備として、情報通信関連産業などの若者が魅力を感じる働く場の創出や、地域の特性を生かした産業の育成に取り組んでまいります。
4	地方に魅力的な高等教育機関を充実させることは、地域の産業活性化に非常に重要なことである。しかしながら、高等学校卒業後の人材流出を抑制するのではなく、 <b>若い世代には、見聞・知識を広めるために香川県外、諸外国も含め出ていく機会を与え、就職（転職含む）の段階にて、企業と連携し高松市に戻りやすくする施策</b> を検討することが重要であると思われる。	
高松ならではの主な取組（素案P.40）		
5	「高松ならではの」という部分がどこと比較してなのか、高松らしいとくみのように感じなかったので気になりました。 全体としては良いと思います！	転出者へのアンケートにおける「高松市の魅力や誇れるもの」の結果や、「市民と市長との意見交換会」における若者の意見などから、瀬戸内海など自然を活用した取組を強化してまいります。 また、「ほっとかんまち高松」を合言葉に取り組んでいる「地域共生社会の推進」や、「コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり」、「スマートシティたかまつ」プロジェクトの推進など、高松ならではの取組についても、重点化を図ってまいります。
目指すべき将来の人口（素案P.41）		
6	目標人口38万人については、適切な施策により、達成は難しくない適切な目標と考えます。	骨子案において、現行の人口ビジョンにおける2060年に36万人程度という目標人口を、38万人程度まで上方修正する案をお示しさせていただきました。 素案においては、目標人口の「2060年に38万人程度」に変更はありませんが、東京一極集中に歯止めがかかっていない現状などを勘案し、2020年については、社人研推計準拠（419,145人）とし、それ以降を骨子案でお示した条件による推計としております。